



令和2年 8月号 可愛保育園

暑中お見舞い 申しあげます。



行事予定

- 6日(木) 平和の集い
- 7日(金) たいそう教室(さくら組)
- 6日・7日 きく組個人懇談
- 11日(火) 英語教室(さくら組)
- 21日(金) お楽しみ保育(さくら組)
- 25日(火) 避難訓練
- 31日(月) 誕生会



今後の行事について

8月21日お楽しみ保育

「お泊り保育」→「お楽しみ保育」として、泊まらず当日解散することになりました。

9月2日(水) 祖父母参観日(ばら・きく・さくら組)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止します。楽しみにされていた祖父母の方には大変申し訳ございません。ご了承ください。

9月26日(土) 運動会(ばら・きく・さくら組)

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、感染拡大防止のガイドラインに沿って、開催方法や内容等を検討します。詳しくは決定次第お知らせします。

今、コレです!



「夏本番!今、クラスで

この夏たのしみにしていること はコレ!」

★さくら組★

- ・プールあそび
- ・お楽しみ保育

★きく組★

- ・まだプールで思いっきりあそべていないので、プールで思い切りあそびたい!

★ばら組★

- ・プールのすべり台楽しかった!!もっとみんなで滑りた〜い!

★たんぼぼ組★

- ・色水あそび

★もも組★

- ・氷を触ってみる!
- ・水あそびを、ダイナミックにやりたい。

★すみれ組★

- ・沐浴をしっかりと楽しむ。



みずあそびのうた

みずを たくさん くんできて
みずてっぼうで あそびましょ
1 2 3 4 しゅっ しゅっ しゅー

みずを たくさん くんできて
みずてっぼうで あそびましょ
1 2 3 4 しゅっ しゅっ しゅー



コロナウイルスの影響で、日本だけでなく、世界中が混乱しています。保育園でも、例年通りの保育ができない状況にあります。行事も中止や変更せざるを得ないものが多く、子どもたちはもちろん、保護者の皆様も残念に思われていると思います。

園では、感染に十分注意しながら、「一度しかないこの年齢のこの季節にしか味わえないことを満喫することができるように!」と職員一同、子どもたちと過ごしています。気になること、心配なこと、不安なこと。なんでも聞いてくださいね。



目標に向けた取り組み

幼児期の 終わりまでに 育ってほしい 10の姿

今年は梅雨明けが遅く7月も雨の日が比較的多く続きました。楽しみにしていたプールあそびや水あそびは少々お預けになっていますが、部屋の中で様々な経験をして過ごすことができました。

保育所保育指針が2018年に改定され、新たに「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」という内容が設けられました。「10の姿」とは、小学校入学までの幼児期に育んでほしい姿を示したものです(到達目標ではなく子どもの学びや育ちを見る視点と考えています)。

知識や技能の基礎、思考力や判断力、表現力の基礎を習得するとともに、学びに向かう力や人間力を養う狙いが込められています。この「10の姿」を通して子ども達の毎日の活動や遊びを見ていきますと、遊びのなかには、たくさんの学びや成長、豊かな経験が見られます。

- (1) 健康な心と体
- (2) 自立心
- (3) 協同性
- (4) 道徳性・規範意識の芽生え
- (5) 社会生活との関わり
- (6) 思考力の芽生え
- (7) 自然との関わり・生命尊重
- (8) 数量・図形、文字等への関心・感覚
- (9) 言葉による伝え合い
- (10) 豊かな感性と表現

「10の姿」とは左記の項目です。

7月の保育園での活動や遊びのなかからみられた、具体的な「10の姿」を裏面に紹介いたします。

保育園での活動や遊びのなかにみられた 幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」

粘土で白玉団子づくりごっこ

(思考力の芽生え) (数量・図形、文字等への関心・感覚)

白玉団子のクッキングに向けて、粘土で白玉団子作りごっこをしました。丸いお団子にするには、両手の動きと力加減が必要です。どうしたら丸くなるのか、同じ大きさにできるだろうか、数を何個作るのか、今は何個で、あと何個?など考えながら遊びました。



ダンボールを切ってお家づくり

(豊かな感性と表現) (協同性) (健康な心と体)

ダンボールや広告紙などを自由に使って遊びました。ダンボールはとても硬いのでハサミで切るには一苦労。力の入れ方や道具の使い方を遊びながら覚えます。大きなダンボールは1人では上手に貼れなくても、友だちが手伝ってくれ、力を合わせて作りました。



ブロックあそび

(協同性) (思考力の芽生え) (道徳性・規範意識の芽生え)

2人の遊びから周りの友達が興味を持ち、だんだんと人数が増えていきました。友だちと一緒に作ったり考えたりすることの楽しさを経験しています。意見の食い違いや、トラブルも、自分の気持ちや友だちの思いを考慮することで、「協同性」や「道徳性」を育む大切な経験のひとつです。



野菜のお絵かき

(自然との関わり・生命尊重) (豊かな感性と表現)

自分たちで育てた野菜を畑で収穫し、その絵を描きました。キュウリやトマトの形や色をじっくりと観察し、紙に描きました。畑ではきゅうりの花やナスの茎の色も見ることができました。



すみれ組のウォーターベッド

(健康な心と体) (自然との関わり・生命尊重)



外での水遊びはできませんが、室内でも水に触れて遊ぶことができました。ふとん圧縮袋に水を入れ、水独特のふわふわの感触や冷たさを体全体で感じることができました。

こどもの音楽会鑑賞と楽器遊び

(豊かな感性と表現) (道徳性・規範意識の芽生え)



こどもの音楽会では、一流のミュージシャンによる生の楽器演奏を見て、大音量で本物の楽器の音を聞くことができました。

また、音楽会前には実際にドラムを叩いて遊んだり、音楽会後には鼓隊の太鼓にもチャレンジしました。叩き方や太鼓の大きさでいろいろな音が出ることを経験しました。



ドラム体験の時、「楽器できれいな音を出すには、『自分が自分が』と思って大きな音を出すよりも、譲り合ったり、友だちの音を聞くことが大切なんですよ」と話したところ、数回叩いたら誰に言われることもなく、次の友だちに交代してあげる姿があり、「規範意識の芽生え」を感じることができました。